

第2期 長岡京市  
まち・ひと・しごと創生戦略

令和3年3月  
長岡京市



## 1. 策定趣旨

### (これまでの取組み)

平成27年度に策定した「長岡京市まち・ひと・しごと創生戦略(以下、市創生戦略という)」では、【目標1】出会い・ふれあい・育てるまち、【目標2】良質で快適な暮らしを約束するまち、【目標3】にぎわいと活力に彩られたまち、【目標4】魅力を創造し発信するまち、の4つの戦略目標と、それを実現するための11のプロジェクトを設定し、地域創生に取り組んできました。人口減少を和らげるという観点では、令和2年10月1日現在の本市の人口は 80,475 人(京都府推計人口(参考値:平成27年国勢調査基準))となっており、本市の人口ビジョンに近い推移となっています。一方で、令和元年10月1日現在の人口と比較すると減少しており、これまでの人口微増から維持・減少局面にはいったものと考えられます。数値目標全体としては約6割の達成状況、KPI では約7割の達成状況となっており、第2期市創生戦略の策定にあたっては、これまでの取組みの成果を踏まえつつ、数値目標・KPI の結果を客観的に評価したうえで、見直しを行います。

### (国等の動向)

国においては、令和2年度から第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、従来の4つの基本目標に多少の修正が加えられたものの、第1期の取組を継続することとされました。一方で、新たに①多様な人材の活躍を推進する、②新しい時代の流れを力にする、という2つの横断的な目標が設定され、関係人口の創出や地方創生 SDGsの実現、多様なひとびとの活躍、Society5.0 の推進などに取組むこととされています。

市創生戦略においても、これらの視点を含め、国・府の戦略を勘案し、見直しを行います。

## 2. 戦略の期間

**2021(令和3)年度～2025(令和7)年度**

## 3. 戦略の位置づけ

本市では、最上位計画である「長岡京市第4次総合計画(以下、市総合計画という)」を策定し、人口減少時代においても、8万市民がゆとりをもって暮らせるまちを維持しつつ、緑と水と歴史を継いだ良質な住み心地、市民が支えあう安心・安全な生活、まちの魅力を最大に活かした人・もの・文化の交流や産業の活力を、次世代に引き継ごうとしています。

基本構想に掲げた「住みたい 住みつづきたい 悠久の都 長岡京」の将来都市像の実現に向け、2021(令和3)年度から始動する第2期基本計画に、6つの「柱」、22の「分野」、49の「施策」を体系立て、各事業を実施していくこととしています。

市創生戦略は、市総合計画との整合性を確保し、より一体的で効率的・効果的な推進を図るため、市総合計画の事業・目標を有機的に結び付け、地域創生を進めるための戦略とします。

また、新型コロナウイルス感染症収束の見通しがたない状況であっても、「8万市民がゆとりを持って暮らせるまち」を目指した、本市の地域創生の歩を緩めるわけにはいきません。新たな「横断的な視点」をコロナ禍における推進力として取り入れ、PDCA サイクルによる不断の見直しと、しなやかで着実な取り組みにより地域創生を進めていきます。

## 長岡京市第4次総合計画

住みたい 住みつけたい 悠久の都 長岡京

### 《人口フレーム》

令和12年に人口8万人が

ゆとりを持って暮らせるまち

うるおい・環境:良質の住み心地

にぎわい・交流:多彩なにぎわい

あんしん・安全:ゆるぎない安心

## 国の《地方創生の目指すべき将来》

### ◎将来にわたって「活力ある地域社会」の実現

- ・人口減少を和らげる
- ・地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する
- ・人口減少に適応した地域をつくる

### ◎「東京圏への一極集中」の是正

## 京都府地域創生戦略

- 〈基本目標1〉結婚・出産・子育ての希望がかなう、子育てにやさしい社会をつくる
- 〈基本目標2〉地域経済を活性化させ、仕事をつくる
- 〈基本目標3〉人々を惹きつけ、京都への新しい人の流れをつくる
- 〈基本目標4〉それぞれの個性を生かした魅力と活力のある地域をつくる
- 〈横断的な目標1〉多様な人材の活躍を推進する
- 〈横断的な目標2〉新しい時代の流れを力にする

## 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略(国)」

- 〈基本目標1〉稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
- 〈基本目標2〉地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- 〈基本目標3〉結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 〈基本目標4〉ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
- 〈横断的な目標1〉多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
- 〈横断的な目標2〉新しい時代の流れを力にする

## 第2期市創生戦略

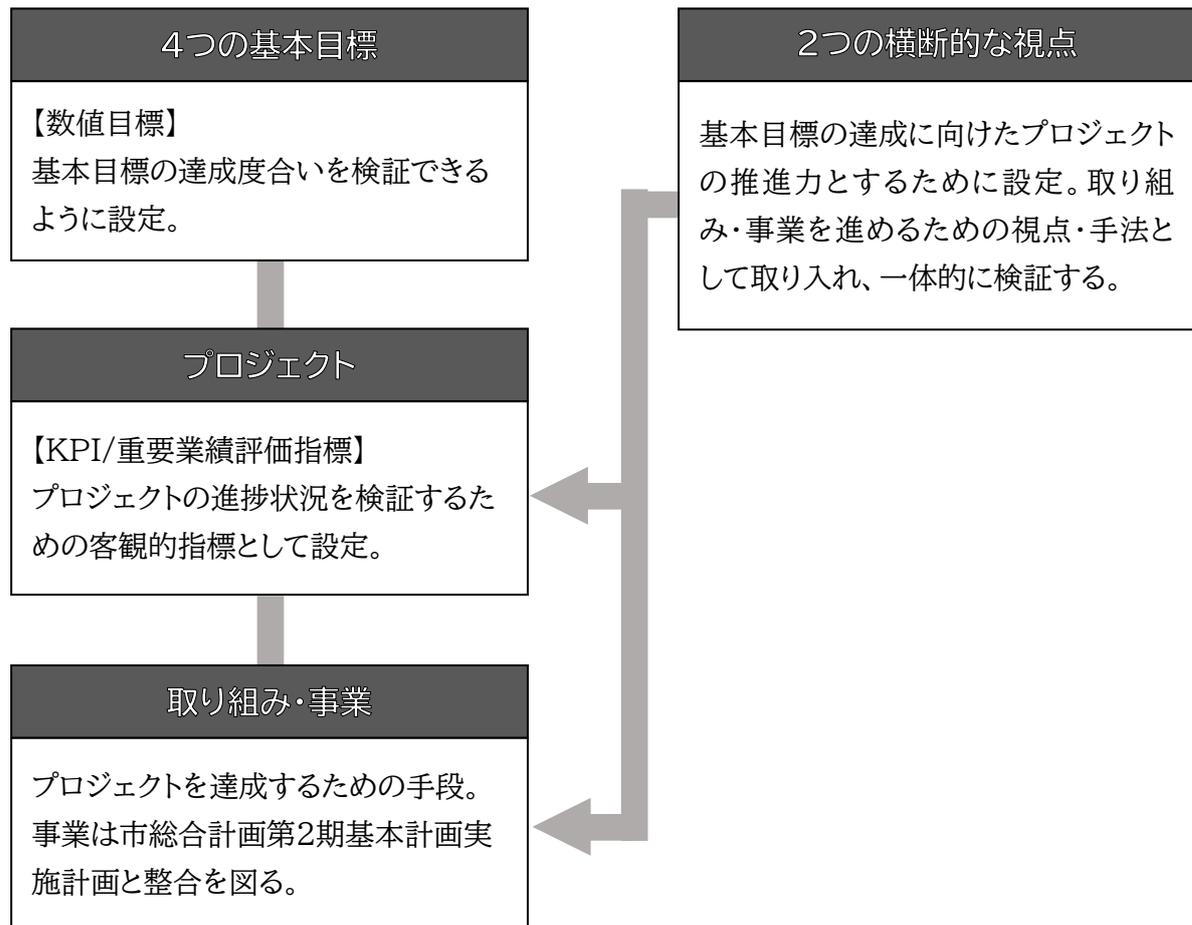
### 《基本目標》

- 《基本目標1》 結婚・出産・子育ての希望を導き、かなえる
- 《基本目標2》 良質で快適な暮らしを追求する
- 《基本目標3》 にぎわいを創出し、地域経済を活性化する
- 《基本目標4》 まちの魅力を発信し、人のつながりと流れをつくる

### 《横断的な視点》

- 《視点①》 多様な人材の活躍と価値の創出
- 《視点②》 新しい時代の流れを力にする

## 4. 戦略の構造



## 5. 戦略実行のために

### (1) パートナーシップのもとで着実に推進する

戦略目標の達成に向けて、行政がリーダーシップを発揮し、市民・産・学・金融機関・労働団体・NPO・公などの総力を結集し、パートナーシップの働きを十分に活かして取り組んでいきます。

また、本市が進める地域創生は、京都・大阪間の JR・阪急沿線の地域全体としての調和を大切にし、相互の切磋琢磨によってそれぞれの都市魅力を高めつつ推進します。

### (2) PDCA サイクルで管理する

各戦略プロジェクトは、短期・集中的に行い、戦略目標達成に向けて実効を上げる必要があることから、事業の実施にあっては、KPI(重要業績評価指標)を設定・活用し、適時の効果検証と不断の見直しを行います。

### (3) 本市の各分野のまちづくりとの相乗効果を発揮させる

地域創生は、国の方針のもとで戦略的かつ集中的に行うものですが、市総合計画を始め各分野の計画との整合を図り、最大の相乗効果が発揮されるよう努めます。

## 6. 基本目標とプロジェクト

### 基本目標1 結婚・出産・子育ての希望を導き、かなえる

#### 《数値目標》

数値目標	基準値	目標	備考
合計特殊出生率	1.48 (H25～29年)	1.64 (H30～R4年)	
子育て世代人口	29,899人 (R2.1.1)	27,500人 (R7.1.1)	※住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

#### ①あんしん・わくわく子育てプロジェクト

子育てに係る経済的負担の軽減と産前から一貫した母子の健康が守られる安心をつくり、地域ぐるみで子育てを応援します。親子が一緒にわくわく成長できるような、特色ある学校教育を進めます。

KPI	期首値	期末値	備考
年少人口	11,272人 (R2年)	11,000人 (R7年)	※住民基本台帳
Hello Baby 教室 (両親教室)参加率	21.3% (R元年度)	25.0% (R7年度)	

#### 〔主な取り組み・事業〕

- ・不妊治療等への経済的支援
- ・地域子育て支援拠点の充実
- ・長岡京子育てコンシェルジュによる支援
- ・子育て応援教室の普及
- ・子育て支援医療費助成
- ・公的病院への支援(周産期医療の確保)
- ・発達障がい児(者)の早期発見・支援
- ・外国語活動の推進
- ・学校 ICT 環境整備・活用推進 など

## ②しごと・子育て両立プロジェクト

安心して仕事ができるよう、子どもの年齢に応じた保育基盤を整備します。男女共同参画社会づくりをさらに推進し、とりわけ子育て世代について、その人が望むワーク・ライフ・バランスが選択できる社会を目指します。

KPI	期首値	期末値	備考
放課後児童クラブの施設整備数	—	2か所 (R7年度)	
すくすく教室における1教室当たりの参加児童数	21人 (R元年度)	23人 (R7年度)	

### 【主な取り組み・事業】

- ・保育所施設の整備
- ・多様な保育サービスの確保
- ・放課後児童クラブ育成事業
- ・すくすく教室の推進
- ・男女共同参画社会の実現
- ・西山公園の整備
- ・公園施設の長寿命化 など

## 基本目標2

## 良質で快適な暮らしを追求する

### 《数値目標》

数値目標	基準値	目標	備考
定住人口	80,475人 (R2.10.1)	80,000人 (R7.10.1)	※京都府推計人口(R2は参考値:平成27年国勢調査基準)
健康寿命の延伸	男性 81.5歳 女性 84.3歳 (H30年)	男性 82.5歳 女性 85.3歳 (R7年)	

### ③ともに支えあう・あんしんのまちプロジェクト

「健康」と「安心」を守り、歳を重ねても住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる社会をつくれます。障がいの有無にかかわらず、安心して自分らしく暮らし、活躍できる共生のまちを目指します。

KPI	期首値	期末値	備考
地域お助けサポーター・自分サポーターの養成講座終了者数	332人 (R元年度)	882人 (R7年度)	
福祉的就労の平均工賃	24,700円 (R元年度)	31,000円 (R7年度)	

### 〔主な取り組み・事業〕

- ・介護予防の促進
- ・(仮称)介護予防センター竹寿苑の整備
- ・介護予防・生活支援サービスの充実
- ・認知症施策の推進
- ・介護人材育成事業
- ・障がい者地域相談支援の強化
- ・障がい者の社会参加促進
- ・障がい者雇用・就労促進
- ・福祉支援者の人材確保
- ・共生型福祉施設の整備 など

#### ④いろいろな世代で暮らそう・住宅ストック活用プロジェクト

山麓住宅ゾーンなどの良質の戸建て住宅ストック、とりわけ空き家について、その円滑な流動をつくり、子育てファミリー層の定着を図ります。良好な住環境を守り、住宅の資産価値を維持します。

KPI	期首値	期末値	備考
空き家の苦情是正率	76% (H28-R 元年平均)	85% (R7年)	
みどりのサポーター 活動団体数	100団体 (R 元年度)	118団体 (R7年度)	

#### 【主な取り組み・事業】

- ・良好な住環境の推進
- ・空き家対策
- ・市民協働緑化の促進 など

#### ⑤緑・水・歴史うるおいのまちプロジェクト

西山をはじめとする自然環境の保全と活用に努めるとともに、その緑と水に抱かれた暮らしのうるおいを守ります。

歴史がもたらすふるさとへの愛着を大切に、子どもが大人になっても住みつづけたと思うまちをつくります。

KPI	期首値	期末値	備考
西山における森林整備 推進事業	306.73ha (R 元年度)	352ha (R7年度)	

#### 【主な取り組み・事業】

- ・西山における森林保全活動の推進・啓発
- ・西山における森林整備の推進
- ・総合的な文化財保存活用の推進
- ・無電柱化の推進
- ・西国街道の再整備 など

## 基本目標3

## にぎわいを創出し、地域経済を活性化する

### 《数値目標》

数値目標	基準値	目標	備考
創業支援件数	21件 (R元年度)	39件 (R7年度)	※創業支援等事業計画に基づく支援事業内容ごとの合計
鉄道三駅の乗降客数	86,001人 (H30年)	88,000人 (R7年)	

### ⑥まちなか・にぎわいプロジェクト

中心市街地における都市基盤整備の進行にあわせ、市の中心部にふさわしい駅周辺施設など都市機能向上の検討を進めます。

KPI	期首値	期末値	備考
新庁舎建設及び周辺整備の進捗	—	新庁舎完成 (R7年度)	
JR長岡京駅東口駅前広場整備の進捗	詳細設計 (R2年度)	供用開始 (R6年度)	

### 【主な取り組み・事業】

- ・阪急長岡天神駅の周辺整備
- ・新庁舎等建設及び周辺整備の推進
- ・JR長岡京駅関連施設の整備 など

### ⑦くるりと便利なまちプロジェクト

コンパクトで暮らしやすいまちの構造をさらに活かせるよう、市民ニーズと地域特性等を踏まえて、都市機能の配置を最適化します。

KPI	期首値	期末値	備考
バス路線の維持	275 便/日 (R2年度)	245 便/日 (R7年度)	
自転車ネットワーク 計画における優先整備 路線の整備率	0% (R2年度)	50% (R7年度)	

#### 〔主な取り組み・事業〕

- ・コンパクトシティの推進
- ・公共施設再編整備の推進
- ・公共交通基盤の整備
- ・自転車ネットワーク路線の整備 など

### ⑧仕事と産業・元気アッププロジェクト

企業の誘致を促進し、工業・商業・農林業が継続的・発展的に営めるよう経営指導や人材育成を進め、地域経済の活性化を図るとともに、創業を希望する人を支援し、新規創業・就労を支援します。

結婚や出産をはじめ、一人ひとりが望む生活が実現できるよう、安定した職と一定水準の所得が得られることを重視し、働く意欲のある人の就労を支援します。

KPI	期首値	期末値	備考
企業進出相談件数 (平成28年度～)	13件(累計) (R 元年度)	29件(累計) (R7年度)	
就労支援対象者の 就労・増収達成率	35% (R 元年度)	40% (R7年度)	

#### 〔主な取り組み・事業〕

- ・創業支援
- ・企業誘致の促進
- ・中小企業振興条例の制定
- ・担い手育成による農地保全
- ・「農」を通じた交流と地産地消の推進
- ・福祉なんでも相談の充実
- ・生活困窮者の自立支援 など

## 基本目標4

# まちの魅力を発信し、人の流れとつながりをつくる

### 《数値目標》

数値目標	基準値	目標	備考
観光入込客数(日帰り)	866,843 人 (R 元年度)	920,000人 (R7年度)	※新基準補正後
ふるさと納税件数	7,575 件 (R 元年度)	12,000 件 (R7年度)	

#### ⑨訪れる楽しさがみえるまちプロジェクト

一貫したテーマ性やストーリー性をもった観光コンテンツを造成し、市内外の観光プレイヤーが参画できるプラットフォームを構築することで、一人あたりの観光消費額の増加を促します。

近隣地方公共団体や観光関連団体と連携を深め、「西山・乙訓」の地域ブランドイメージを形成することで観光誘客を図り、交流人口を増やします。

KPI	期首値	期末値	備考
一人あたりの観光消費額(日帰り)	2,105 円 (R 元年度)	2,300 円 (R7年度)	※新基準補正後
観光体験プログラム数	23コンテンツ (R 元年度)	38コンテンツ (R7年度)	

#### 〔主な取り組み・事業〕

- ・新・観光戦略プランの推進
- ・観光誘客の強化 など

### ⑩長岡京みんなで発見・まるごと発信プロジェクト

市民の市への愛着を深め、市民自らが発信する共感・共有サイクルを構築します。魅力ある地域資源の掘り起こしと情報発信により、市内外の人々とのつながりを深め、関係人口を拡大します。

KPI	期首値	期末値	備考
市民ライター等による市魅力発信サイトへの記事投稿数	6件 (R元年度)	42件 (R7年度)	
ふるさと納税協力事業者数	22事業者 (R元年度)	37事業者 (R7年度)	

#### 〔主な取り組み・事業〕

- ・シティプロモーションの推進
- ・ふるさと納税を活用した市の魅力発信
- ・長岡京ガラシャ祭(市民まつり)開催支援 など

## 7. 横断的な視点

### 視点①

### 多様な人材の活躍と価値の創出

今後さまざまな分野での人材不足が予測される中、行政だけでは、多様化・複雑化する地域の課題を解決することはできません。企業、NPO、住民など、地域に関わる一人ひとりがそれぞれの強みを活かし、地域の担い手として積極的に参画できることが重要です。

本市の地域創生においても、積極的に多様な人々をつなぎ、多様な人材が活躍し、多様性を認め合える環境の形成を意識して取り組みを進めます。

### 視点②

### 新しい時代の流れを力にする

#### (1) 未来技術の活用

IoT や ICT、AI 等をはじめ、未来技術の適切な活用は、距離と時間の制約を克服したり、人の能力・活動を拡張・効率化・代替できる利点があります。これらは業務の効率化や市民の利便性向上、地域の課題の解決・改善に繋がる可能性があります。コロナ禍は働き方やライフスタイルをはじめ、多くの人の考え方や社会環境に変化をもたらしました。このような状況のもと、ICT や IoT により既成概念にとらわれない社会の仕組みづくりが進められ、社会・特に行政のデジタル化が強く求められています。未来技術を積極的に活用し、本市の地域創生の推進力として取り入れていきます。

#### (2) SDGs の実現を目指した持続可能なまちづくり

持続可能なまちづくりのためには、特定の分野だけに限るのではなく、経済・社会・環境の三側面が統合することにより生まれる相乗効果と自律的好循環が重要です。こうしたSDGsの理念と地域創生の親和性は高く、本市の施策推進、市創生戦略の取り組みにおいても、SDGsの目標達成に寄与するものです。民間企業、金融機関など多様なステークホルダーと連携した政策の最適化や地域課題の解決のために、SDGs の理念や目標を意識して取り組みます。

**第2期 長岡京市まち・ひと・しごと創生戦略**

発行日：令和3(2021)年3月

編集・発行：長岡京市総合政策部総合計画推進課

〒617-8501 長岡京市開田一丁目1番1号

電話/075(951)2121 FAX/075(951)5410